

受付番号
倫理第 1051 号
研究課題名
消化器癌における C5a 受容体高発現の予後因子としての意義
研究期間
2015 年 11 月 11 日から 2016 年 3 月 31 日まで
研究の目的・方法
補体は、免疫反応の一つであり抗原抗体反応を介して活性化することで、微生物を排除し易くしたり、細胞壁に穴をあけることで細胞死を誘導したり、好中球の遊走を惹起し免疫反応を助長するなど体内での炎症反応を誘導する因子として重要であります。しかし近年、補体 C5a は細菌感染以外にも関節リウマチ、敗血症、肺炎、動脈硬化、白血病を増悪させる因子として注目されております。私たちは補体の受容体である C5a 受容体がヒトの固形癌 (消化器癌、肺癌、乳癌など)にも発現し、癌の浸潤・転移に関与していることを示しました。本研究は消化器癌における C5a 受容体の役割を調べ、C5a 受容体を標的とした治療法が更なる消化器癌治療の成績向上に役立つかを検討します。
研究の対象となる方
2001 年 1 月 1 日から 2012 年 12 月 31 日の期間に当院で消化器癌の切除術を受けられた方
研究に利用する試料・情報
以前に切除術を受けられ当院に保存してある病理標本 診療記録(カルテ)や画像検査データ
<ul style="list-style-type: none"> <li>術前データ (年齢、性別、腫瘍径、腫瘍個数、腫瘍占拠部位、腫瘍の進行度、腫瘍マーカー、併存疾患の有無等)</li> <li>周術期データ (施行術式、手術時間、出血量、赤血球輸血の有無、合併症、術後在院日数等)</li> <li>術後予後データ (癌の病理結果、生存期間、再発の有無など)</li> </ul>
研究機関の名称並びに研究機関の長及び研究責任者の氏名
研究機関名称：熊本大学大学院生命科学研究部
研究機関の長：西村 泰治
研究責任者：馬場 秀夫 消化器外科学 教授
共同研究機関：なし
研究に関する資料の入手・閲覧について
ご要望があれば、患者様とご家族が読まれる場合に限り、他の患者様の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内において、この研究の計画書をご覧いただけます。下記担当者までご連絡ください。
個人情報の取り扱いについて
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個人情報は研究のために特定した目的、項目に限り適正に取得、利用します。</li> <li>2. 取得した情報を用いて解析した研究の結果は、論文や学会発表として公表されますが、公表される情報には個人を特定し得る情報は含まれませんのでご安心ください。</li> <li>3. 取得した情報は万全な安全管理対策を講じ、適切に保護し慎重に取り扱います。</li> <li>4. 個人が特定できる情報が熊本大学から外部に出ることはありません。</li> <li>5. 本研究で取得し管理している情報に関して、開示、訂正、削除、あるいは第三者への開示、提供の</li> </ol>

停止を希望される方は、担当医師までご相談ください。

6. 一般的な質問や苦情がある方は、下記の対応窓口までご連絡ください。

#### 利益相反について

本研究は、国から交付された研究費（運営費交付金、科学研究費など）によって行われる予定ですが、本研究に携わる全研究者によって費用を公正に使った研究が行われ、本研究の公正さに影響を及ぼすような利害関係はありません。本研究における利益相反に関する状況は、熊本大学大学院生命科学研究部等臨床研究利益相反審査委員会の審査を経て、熊本大学大学院生命科学研究部長へ報告しています。

#### お断りのお申し出について

この研究に、ご自分の病理標本やデータを使用してほしくないと思われる場合は、その旨下記の対応窓口までお申し出ください。それまでに収集されたデータを一切使わないようにすることができます。その場合でも、通常の診療などで不利益を受けることは全くありません。上記の調査期間中であれば、いつでもお断りいただけます。

#### お問合せ・ご相談への対応窓口

熊本大学生命科学研究部 消化器外科学

担当者：甲斐田 剛圭、新田 英利

－連絡先－

熊本大学医学部附属病院 消化器外科

〒860-8556 熊本県熊本市中央区本荘 1-1-1

電話 096-373-5540/096-373-5544 消化器外科外来（EFブロック）